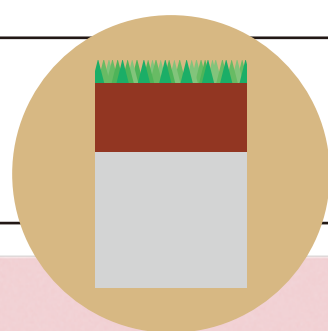


K 砂・有機物集積型



特徴

- ・ 床土に砂を使用して造成されている。
- ・ 土壌断面の表層に暗い色の層がある。

解説

更新作業の不足から、サッチ・有機物が過剰に集積している状況です。この表層に集積した有機物層が原因でサンド構造の特性が失われ、土壌過湿や排水不良などの状態に陥っています。また、有機物の集積だけでなく、芝張り時に持ち込まれた畑の土が不透水層となっているケースもよく見られます。

このような土壌環境は、水溜りだけでなく、土壌還元、根の伸長阻害、病虫害の発生助長、薬剤（特に除草剤）や肥料の効きを悪くするなど様々な弊害をもたらします。

対策

現在よりもコアリングやバーチカルカットなど更新作業の回数や更新面積率を増やし、集積した有機物を物理的に除去する必要があります。コアリングの更新面積率を増やすためには、口径の大きいタインを使用する、タインの間隔を狭くするなどの方法があります。またサッチ分解剤を利用して生物的に有機物を除去する（分解させる）ことも有効な手段です。また、定期的なシャットリングやスリッティング作業で排水性や通気性を確保しておくことが大切です。有機物層が厚くなってきた（10cmを超す）場合は、有機物層を剥ぎ取った後、芝を張り戻すことで再びサンド構造が甦ります（表層改修）。

